

≪所沢特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・学科	小学部・中学部	R4.5.1 児童・生徒数	(男) 133 (女) 41	計 174
アクセス	西武新宿線「航空公園駅」から西武バスで約14分。航空公園駅東口・2番バス乗り場から「エステシティ所沢」行き（約9分）バス停「所沢聖地霊園」下車5分。					
<教育課程等>						
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントの推進 ・社会に開かれた教育課程づくり ・児童生徒の実態把握の手法を全校で統一（太田ステージ評価） ・PDCAサイクルに基づいた個別の教育支援計画、個別の指導計画 ・外部専門家（カウンセラー・太田ステージ専門家・言語聴覚士・理学療法士等）の活用と授業改善 						
<学校行事・部活動>						
<ul style="list-style-type: none"> ・学部間の交流を図り、楽しみながら互いを認め合う運動会 ・協力して学習の成果を発表するトコトコフェスティバル（文化祭） ・開校以来続く県立所沢高等学校吹奏楽部&バトン部の演奏会 ・亜細亜大学吹奏楽部の演奏会 ・PTA主催行事の芸術鑑賞会 						
<家庭・地域との連携>						
<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開を年2回実施し、開かれた学校づくりを推進 ・特別支援教育公開講座を年3回実施。福祉や関係機関との連携、本校の実践を中心とした愛着障害、太田ステージ評価の活用等、本校の専門性を地域に発信 ・就労支援アドバイザーによる保護者向け進路懇談会等の実施 ・所沢市立伸栄小学校との交流会（小学部高学年） ・所沢市立富岡中学校との交流会（中学部） ・PTA主催行事の「夏祭り」を実施し、地域や市内福祉作業所との交流 						
<進路>						
<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校普通科 24名 						



県立所沢特別支援学校 ～児童生徒の成長物語～

学校教育目標 なかま わかる きぼう

目指す学校像
 子どもの立場に立ち 良さを見つけ 可能性を拓ける学校

<学校の紹介>

- ・学区は所沢市一市のみ
- ・小中学部単独校（平成28年度より）としての教育活動
- ・児童生徒の障害の多様化への対応

<小学部低学年の目標>

- ・大人や友だちとの関わりをもち、集団で過ごすことの楽しさを知る。
- ・わかった、できたという経験を通し、興味関心を広げ、主体的に取り組む。
- ・健康で丈夫な体を作り、自分の気持ちを豊かに表現する。

<小学部高学年の目標>

- ・友だちを意識し、一緒に活動する楽しさを知る。
- ・いろいろな経験を積み重ね、自分から取り組む意欲を育む。
- ・好きなことを見つけ、自信をもって、自分の力を発揮することができる。

<中学部の目標>

- ・人との関わりを大切にし、豊かな心を育む。
- ・自ら学ぶことの楽しさを知り、認識を高め、興味関心を広げていく。
- ・様々な経験を基に、自分の将来を見据え、社会性を培う。

<学校の特色>

- ・保護者、地域、所沢市との連携
- ・進路先高等部への橋渡し（移行支援）
- ・「特別支援学校の新たな学び推進プロジェクト」（平成30、31年度）
- ・太田ステージ評価の活用
- ・教育環境の整備・ICT機器の活用
- ・PDCAサイクルに基づいた教育支援プランの策定
- ・外部専門家、外部機関との連携と活用

<学校宣言>

私たちは児童生徒一人ひとりの「見て・聞いて・感じている世界」を理解することから出発し、そのニーズに応え、可能性を最大限に引き出す学校づくりに努めます。児童生徒についてチームで常に話題を共有し、特に指導・支援が必要な場合には、全校的な視野で、外部の専門家とも連携しながら対応します。

いちようは所沢市の『市の木』です